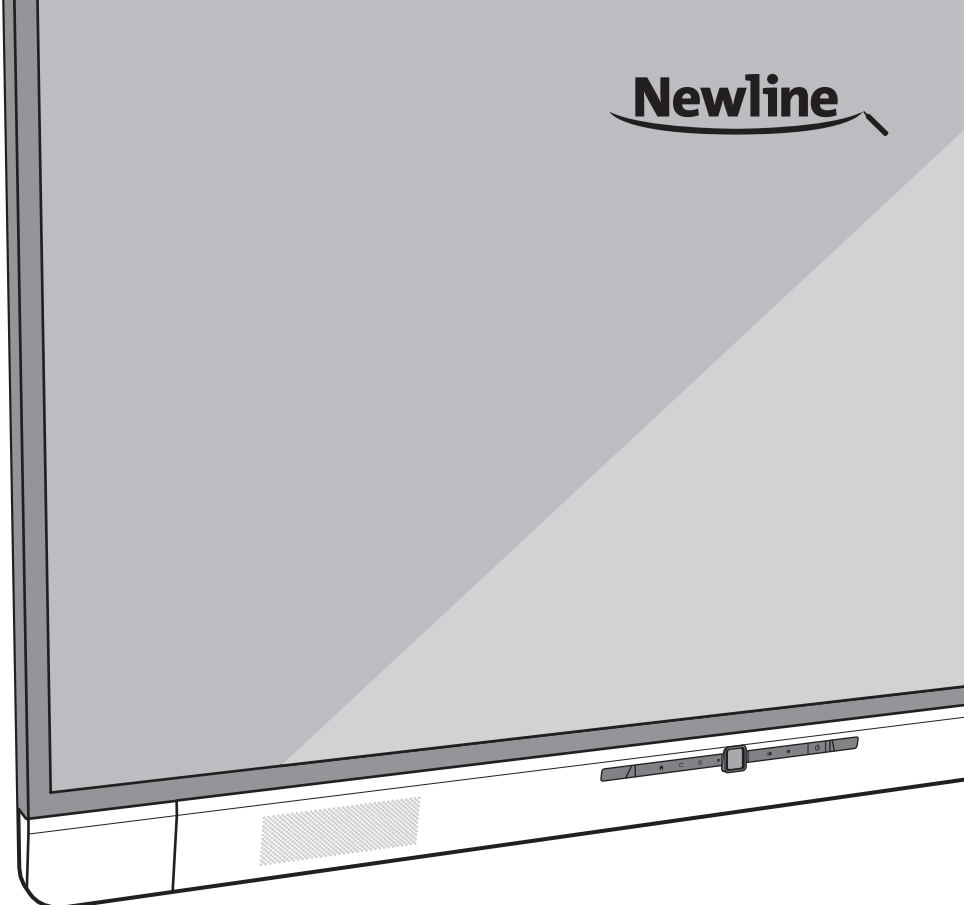




Newline

コラボレーション
タッチスクリーン **X7**

クイックガイド

コラボレーションタッチスクリーン Newline X7 をお買い上げいただきありがとうございます。

ご利用の前に本書を必ずよくお読みください。
また、本書は大切に保管をしてください。

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

本製品を製品寿命などで廃棄するときは、リサイクルに関する法律や条例に従ってください。バッテリーや充電電池を他の家庭ゴミと一緒に処分しないでください。バッテリーや充電電池は自治体が指定した方法でリサイクルしてください。環境保護にご協力ください



本書に関して

本書は製品に関する様々な機能の紹介、注意事項、インストラクションなどを含んでいます。

特に注意が必要な箇所は記号とともに記されております。

各記号は下記を表しております。:

 NOTE	メインの文章に追加して、操作に関する追加情報が示されています。
 TIP	操作に関するヒントが紹介されています。
 CAUTION	誤った方法で操作をおこなった場合に、機器の破損やデータの損失、パフォーマンスの低下など、予期せぬ結果を招く恐れがある注意すべき事項が示されています。

ご使用の前に

製品を安全にご使用頂くために、ご使用前に下記のインストラクションをご確認ください。誤った製品の使用方法は怪我、事故の元になります。

感電を避けるためにむやみに分解しないでください。必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。

 WARNING	
	重大な症状が見られた際には必ず本製品の電源を抜いてください。重大な症状には下記が含まれます。 ・ 発煙、焦げたような匂い、異音などが本製品から発生している ・ 画面が映らない、音が出ない、画面にエラーが生じている。 上記の症状が見られた場合には、製品の使用を直ちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。
	液体や金属、可燃性のものを本製品内部に入れないでください。 ・ もし、液体や金属などが入ってしまった場合、ただちに電源を切り、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。 ・ 製品の使用時に周りに小さな子供がいないか注意してください。
	電源ケーブルにダメージを与えないでください。 ・ 電源ケーブルに傷をつけたり、変更したり、ねじったり、曲げたり、過度な力を加えないでください。 ・ 電源ケーブルに製品本体など重いものを乗せないでください。 ・ 電源ケーブルを取り外す際に過度な力で引っ張らないでください。もし、電源ケーブルにダメージがある場合は製品の使用をただちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。
	製品を安定した平らな場所に設置してください。 ・ ぐらぐらしたスタンドや机の上など不安定な場所へ設置は製品が倒れるなどして、事故や故障の元となります。
	電池は正しくご使用ください。 ・ 誤った方法で電池を使用すると、液漏れ、腐食、火事などの原因となります。必ず指定された種類の電池をご使用の上、正しい方向に入れてください。 ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 ・ 長期間にわたり使用しない場合、電池をリモコンから取り外してください。 ・ 直射日光の当たる場所や日の近くなど、高熱の場所に電池を放置しないでください。 ・ 地方の条例等に従い電池を廃棄してください。



WARNING

	本製品を分解、改造しないでください。 本製品の内部は高電圧です。感電の危険がありますので、本製品の検査やメンテナンスの際には必ずサービス担当者にコンタクトしてください。
	必ず指定の電源でご使用ください。 - 本製品に付属している電源ケーブルを必ずご使用ください。他のケーブルを使用すると製品の故障や事故の原因となります。 - 付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。 - 必ずアース接続をおこなってください。 - 長時間にわたり使用しない場合、本製品の電源を抜いてください。 本製品を移動する場合、必ず全ての外部機器との接続をはずしてください。 - 製品を移動する際にはぶつけたり、過度な圧力が加えたりしないように気をつけてください。特にディスプレイ部分にダメージが加わると故障や怪我の原因となります。 定期的に製品のメンテナンスを行い、ホコリなどを取り除いてください。 - クリーニングの際には必ず電源を切ってから本体の電源ケーブルを抜き、乾いた布でおこなってください。 - お手入れの際には柔らかい乾いた布でから拭きしてください。湿った布や化学雑巾などでは絶対に拭かないでください。
	製品の上に物を置かないでください。 - 製品の上に、花瓶や液体など置かないでください。 - 本製品に液体が入ってしまった場合、製品がショートし、火事や感電の原因となります。 - 本製品に乗ったり、物をかけないでください。
	本製品を不適切な場所に設置しないでください。 - 浴室など高温多湿の場所、シャワールーム、雨がかかる可能性のある窓際、室外などに設置しないでください。 - 温泉などの蒸気が当たる場所に製品を設置しないでください。不適切な場所への設置は感電や火事などの事故の元になります。 - 火元の近くに本製品を設置しないでください。また、キャンドルなど火のついた物を製品の近くに置かないでください。
	雷の際には本製品をコンセントから外してください。 - 感電の原因になるため、雷が鳴っている時には本製品を触らないでください。 - 高圧になる製品は小さな子供が届かない場所に設置してください。
	濡れた手で触らないでください。 濡れた手で電源ケーブルを触らないでください。感電の原因となります。



WARNING



本製品の通気部分を塞がないでください。

- ・ 本製品に使用している部品が高温になり、火事や故障などの原因となります。
- ・ 通気部分を下向きに設置しないでください。
- ・ カーペットやベットシートなどに製品を設置しないでください。
- ・ テーブルクロスなどの布で本製品を覆わないでください。



CAUTION



本製品を高温の場所に設置しないでください。

- ・ ストープなどの高温が発生する場所の近くなどに本製品を設置しないでください。
- ・ 直射日光が当たる場所へ本製品を設置しないでください。本製品が高温になり、故障の原因となります。



輸送に際して：

- ・ 本製品の輸送の際には移動性やメンテナンス性を考慮し、本製品が入っていたカートン及び緩衝材をご使用ください。
- ・ 本製品を移動する際には必ず製品を垂直にして運んでください。間違った方向で運ぶと思わぬ故障の原因となります。



ラジオや強い電磁波の発生する製品の近くでご使用しないでください。

本製品は防磁処理が施されていますが、強い電磁波に影響する可能性があります。

ノイズが発生した際には下記をお試しください。

- ・ ラジオのアンテナの方向を調整してください。
- ・ 本製品からラジオを離してご使用ください。

ご使用の際に：

- ・ 目の保護のために、明るい場所で本製品をご使用ください。暗い場所や極端に明るい場所は目を痛める恐れがあります。
- ・ 長時間視聴後には目を休めてください。
- ・ 画面を見る際には、本製品の設置している高さの3～7倍の距離でのご使用を推奨しております。
- ・ 特に夜などは音量にご注意ください。
- ・ アンプを音声入力ソースとしてご使用の際にはご注意ください。アンプを使用する場合、入力がスピーカーの最大出力を上回らないようにご注意ください。スピーカーの故障などの原因となります。

結露（つゆつき）について：

- ・ 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させた時や、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露が無くなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐため徐々に室温を上げてください）

A

本製品に関して

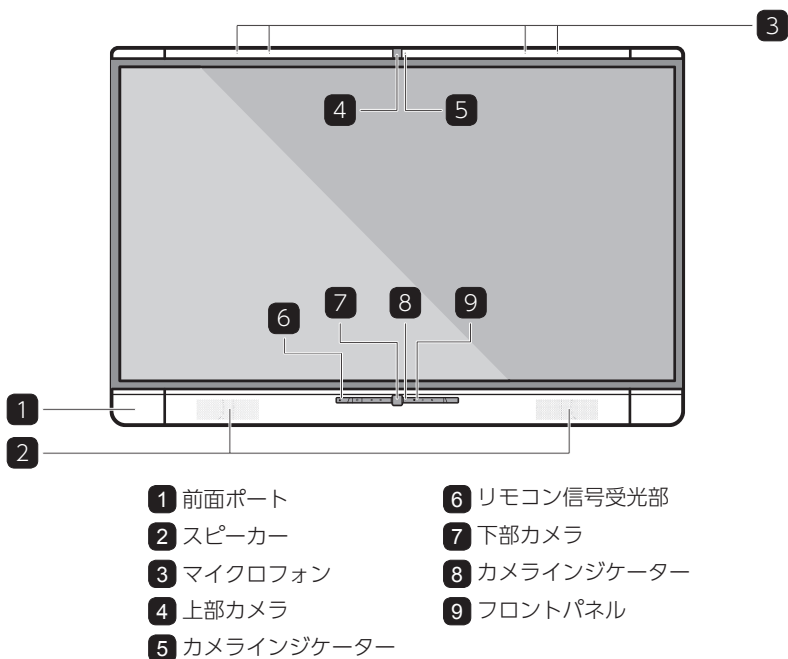
本製品に関して

本コラボレーションタッチスクリーンは、静電容量方式タッチパネルを搭載し、ビデオ、オーディオ、手書き入力、マルチメディアプレゼンテーション機能を搭載したオールインワンデザインです。

専用ソフトウェアはミーティングをサポートするために設計されており、ドキュメントへの直感的な操作による手書きコメントの挿入や、遠隔地との多拠点でのテレビ・音声会議の開催など様々な形でのミーティングの効率化を実現します。

各部名称

◆前面



Note

- 上下のカメラは同時に使用することはできません。
- 使用している側のカメラのインジケータランプが白く点灯します。

◆背面



- | | |
|-------------------|---------------|
| 10 温度センサーリセットスイッチ | 13 OPS 用スロット |
| 11 主電源スイッチ | 14 背面ポート |
| 12 AC 電源 | 15 カメラ位置合わせノブ |

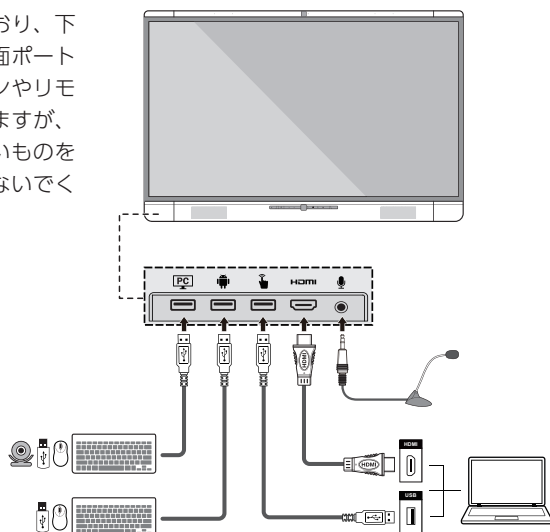
◆カメラ位置の上下微調整

背面のカメラ位置合わせノブにより、カメラの位置を上下に微調整することができます。

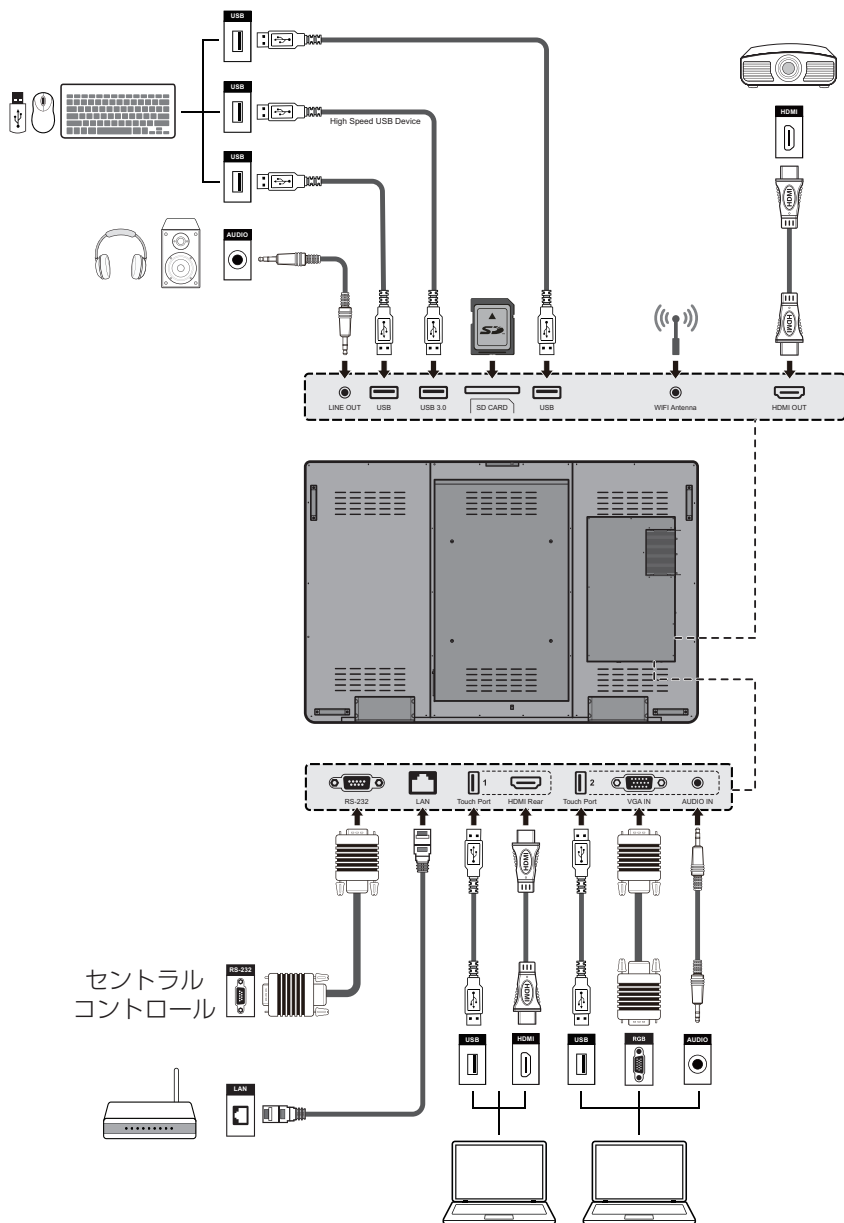
入出力ポート

◆前面ポート

製品左下部分は扉となっており、下方向に開くことにより、正面ポートが現れます。扉部分にはペンやリモコンなどを置くことはできませんが、故障の原因となるため、重いものを置いたり、過度な力をかけないでください。



◆背面ポート



◆コントロールパネル



ボタン	操作	機能
	短くタッチする	電源のオン / オフ
	短くタッチする	音量を 1 レベル下げる
	一秒以上長くタッチし続ける	音量を下げ続ける
	短くタッチする	音量を 1 レベル上げる
	一秒以上長くタッチし続ける	音量を上げ続ける
	短くタッチする	メニュー画面を開く
	短くタッチする	ホーム画面へ戻る
	短くタッチする	前に戻る /Exit

リモートコントロール

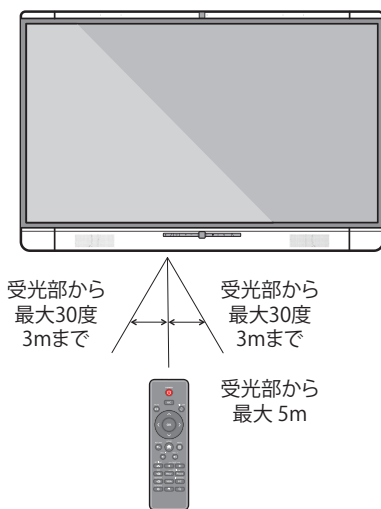
ボタン	機能
	電源オン / オフ
UC	設定したプログラムの起動
	ミュート
	マイクミュート
OK	決定
	上下左右へのカーソルの移動
	前に戻る / Exit
	ホーム画面に戻る
	メニュー画面を開く
	音量を下げる
	音量を上げる
	設定
	ページ戻し
	ページ送り
	上部カメラに切り替え
	下部カメラに切り替え
Front	前面 HDMI 入力端子へソース切替
Rear	背面 HDMI 入力端子へソース切替
VGA	VGA 端子へソース切替

ボタン	機能
PC	内部パソコン (OPS) へソース切替
	ディスプレイモードの切替
	ズームイン (パソコン)
	ズームアウト (パソコン)



◆リモコンでの操作に関して

リモコンは本体正面から最大約 5 メートル、リモコン信号受光口から上下左右 30 度の範囲でご使用いただけます。



事故などの防止のために、下記の点をよくご確認の上、リモコンをご使用ください。

- ・リモコンを落下させたり強い衝撃を与えないでください。
- ・液体をこぼさないでください。
- ・濡れた表面にリモコンを置かないでください。
- ・直射日光や高音の場所に放置しないでください。

B

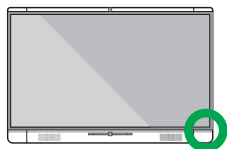
製品の設置に関する注意

安全に関する注意

◆設置環境に関してのご注意



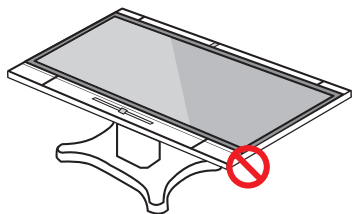
◆設置方向



水平に設置してください

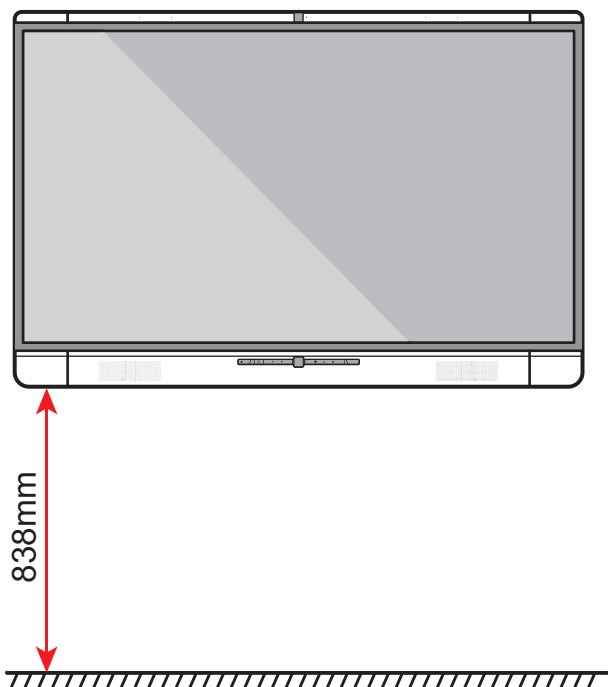


縦方向に設置しないでください。



平らに設置しないでください。

◆設置高さ



設置に関する注意

◆重量に関して

- パネル裏面には VESA 準拠の取り付け穴が搭載されています。VESA 準拠のマウントシステムをご使用ください。
- 可動式カートを使用する場合、使用するカートの耐荷重が 80kg 以上であることをご確認ください。
- 本製品の質量：約 65kg
- 壁掛けブラケットをご使用の場合、壁に十分な耐荷重があるか事前にご確認ください。補強され、製品の約 2 倍の耐荷重のある壁への設置を推奨しております。詳しくは、壁掛けの設置業者へご確認ください。
- ドアなどの障害物がぶつかる可能性がある場所へ設置しないでください。

◆ベンチレーション

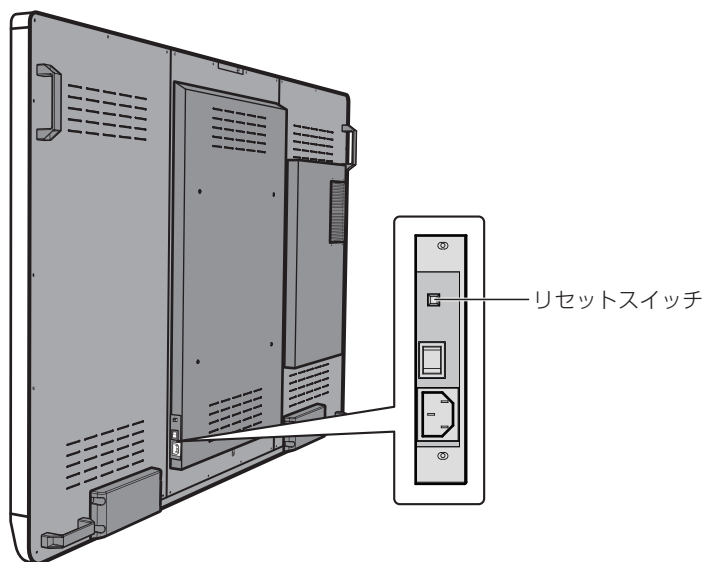
通気・放熱が十分にされる場所へ設置してください。設置場所の壁などとの間に図に示したスペースが空いていることをご確認ください。

◆高温での自動シャットダウン機能

使用中にパネル全体の温度が通気環境や使用時間などにより設定した温度（80 度）より上昇した場合、システムが検知をして内部回路の保護のため自動的にシャットダウンします。

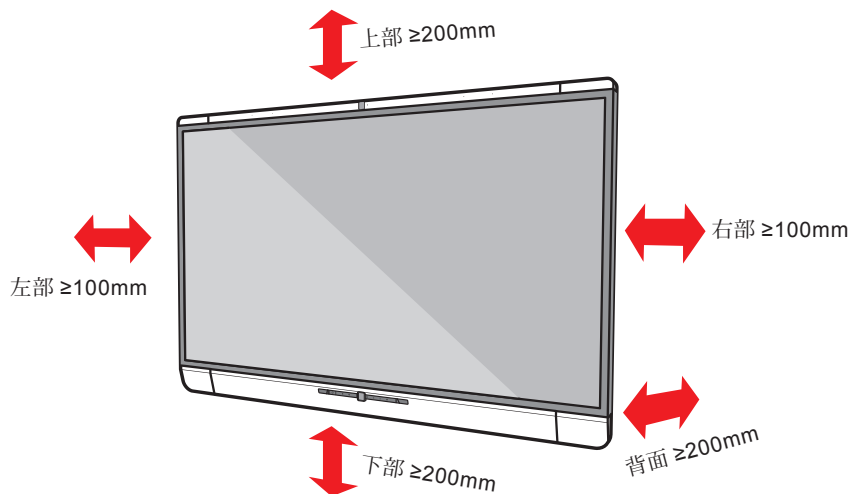
◆高温によるシャットダウンからの復帰方法

復帰方法：タッチスクリーンを電源に正しく接続したのち、下図が示す背面下部にあるリセットスイッチを押してください。（もし、シャットダウンの原因が通気環境によるものである場合、通気環境を改善させてからリセット作業をおこなってください。）



Tip:

保護スイッチは輸送中のダメージを防ぐために工場出荷時などにはオフになっていることがあります。初めてのセットアップの際には上記に従ってリセットをおこなってからインストレーションをおこなってください。



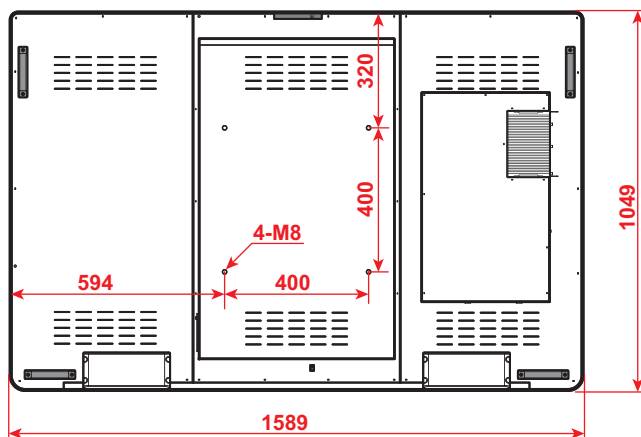
設置

背面の4つのマウント取り付け穴は VESA MIS-F に準拠しております。(400 x 400mm) 長さ 10mm~15mm の M8 のボルトにてタッチスクリーンをマウントにしっかりと固定してください。背面の各部寸法は下図の通りとなっております。



Note

取り付けは必ず専門業者でおこなってください。



単位：mm

**注意**

ご使用前に必ず保護フィルムを剥がしてください。

HB またはそれよりも柔らかい鉛筆をご使用ください。HB よりも硬い芯の鉛筆を使用すると、ガラス表面が傷つく場合がございます。

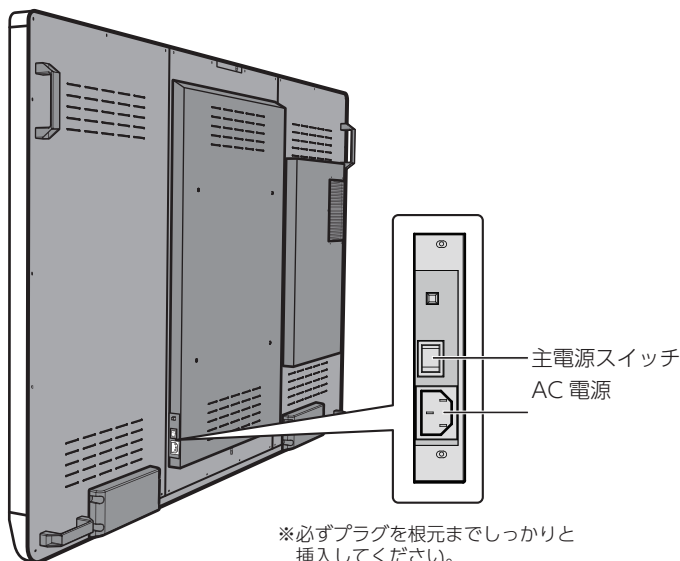
また、付属の電源コードは本製品専用です。他の製品に使用しないでください。

電源の投入

Step 1: 方向に注意して内蔵パソコン（OPS）や Wi-Fi アンテナを本体に接続してください。

Step 2: 製品に付属の電源コードをコンセント及び製品側面のコネクタに接続してください。必ず電源が 100V、電源周波数帯が 50Hz/60Hz であることを事前にご確認ください。また、必ずアース接続をおこなってください。

Step 3: 本体側面の主電源スイッチを入れてください。



Step 4: フロントパネルの電源ボタン  または、リモコンの電源ボタン  を押してください。

D

タッチスクリーンの操作

ホーム画面

本体に電源が投入されると、Figure 1 のようにスタート画面が表示されます。画面をタッチするとホーム画面に切り替わりミーティングを開始できます。

Figure 1 スタート画面

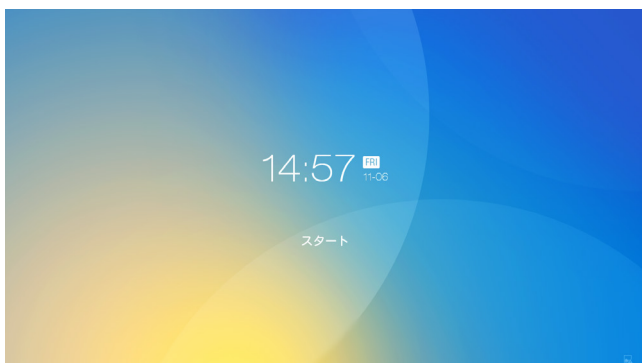


Figure 2 ホーム画面



• コラボレーション

事前に設定した UC プログラムなどをワンタッチで起動することができます。また、アイコン右上部の小さな三角をクリックすることでプログラムを 3 つまで登録できます。デフォルトのプログラムは最後に使用したプログラムとなります。

• ホワイトボード

ホワイトボード機能や、画面への書き込み機能をワンタッチで起動できます。

• 入力切り替え

内蔵 PC、前面の HDMI 端子、背面の HDMI 端子、VGA の 4 つから表示する入力ソースを選択することができます。

• 外部メモリー

USB ポートに接続した外部メモリーに保存されているデータを閲覧することができます。クリックするとファイルマネージャーが表示されます。

• 終了

ミーティング終了時に「終了」をクリックします。一時保存されているミーティング時に作成した手書きメモやキャプチャーした画面のデータを保存するかを選択肢が現れます。ミーティングを終了すると、一時保存されているデータはすべて削除されます。

両サイドに配置されたクイックアクセスボタンに関して

-  : クリックすると、画面への手書きモードが起動します。再度クリックすると、手書きモードが終了し、スクリーンショットが作成されます。
-  : ホワイトボードを起動します。
-  : ホーム画面に戻ります。
-  : 一つ前の App に戻ります。 / Exit
-  : アプリケーションの切り替えをおこないます。

Tip:

クイックアクセスボタンは上下に移動可能です。

E

簡単設定メニュー

設定のショートカットおよびアプリケーション

スクリーンの中央上部分の際から下方向に1本指で40～80mm程度スライドすると、設定とアプリケーションのショートカットが現れます。



◆ システム設定

設定アイコンをクリックすると、システム設定画面へと移行します。下図の赤枠で囲まれた各種設定をおこなうことができます。





もっと詳しい操作方法是

.....

詳しい操作方法に関しては、取扱説明書をご確認ください。取り扱い説明書は、製品に付属の CD-ROM に収録されております。

Newline 製のその他製品に関する情報や、最新の情報に関しては弊社ホームページをご確認ください。

URL : www.newline-interactive.com

